

野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第10期(決算日2020年4月27日)

作成対象期間(2019年5月8日~2020年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策の渦中ではございますが、今後ともお客様本位の業務運営を継続的に行ってまいりますので、一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2010年4月16日から2025年4月28日までです。	
運用方針	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落率			
6期(2016年4月27日)	円 11,702		円 450	% △13.4	% 96.6	% —	百万円 1,304
7期(2017年4月27日)	13,844		700	24.3	92.5	—	1,526
8期(2018年4月27日)	15,947		800	21.0	95.4	—	2,488
9期(2019年5月7日)	16,382		860	8.1	94.0	—	4,308
10期(2020年4月27日)	15,980		800	2.4	95.1	—	4,323

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比率	株式 先物比率
		騰	落率		
(期首) 2019年5月7日	円 16,382		% —	% 94.0	% —
5月末	14,574		△11.0	91.1	—
6月末	15,541		△ 5.1	94.1	—
7月末	16,422		0.2	92.8	—
8月末	15,654		△ 4.4	94.7	—
9月末	15,248		△ 6.9	98.7	—
10月末	16,288		△ 0.6	94.3	—
11月末	17,168		4.8	97.0	—
12月末	17,407		6.3	95.4	—
2020年1月末	18,121		10.6	94.4	—
2月末	16,564		1.1	94.8	—
3月末	15,007		△ 8.4	97.5	—
(期末) 2020年4月27日	円 16,780		% 2.4	% 95.1	% —

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税分	込配 金	期騰 落率			
6期(2016年4月27日)	円 14,028	円 720	△18.4	96.3	—	百万円 6,095	
7期(2017年4月27日)	16,839	880	26.3	93.2	—	5,983	
8期(2018年4月27日)	19,332	1,000	20.7	95.6	—	7,665	
9期(2019年5月7日)	20,567	1,090	12.0	94.0	—	11,178	
10期(2020年4月27日)	19,606	1,000	0.2	94.6	—	10,079	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比率	株式 先物比率
		騰落	率		
(期首) 2019年5月7日	円 20,567		% —	% 94.0	% —
5月末	18,106	△12.0		91.4	—
6月末	19,066	△7.3		94.7	—
7月末	20,359	△1.0		92.8	—
8月末	19,044	△7.4		95.2	—
9月末	18,833	△8.4		98.7	—
10月末	20,329	△1.2		94.2	—
11月末	21,592	5.0		96.8	—
12月末	21,939	6.7		95.9	—
2020年1月末	22,782	10.8		95.3	—
2月末	20,872	1.5		95.5	—
3月末	18,607	△9.5		95.2	—
(期末) 2020年4月27日	20,606	0.2		94.6	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

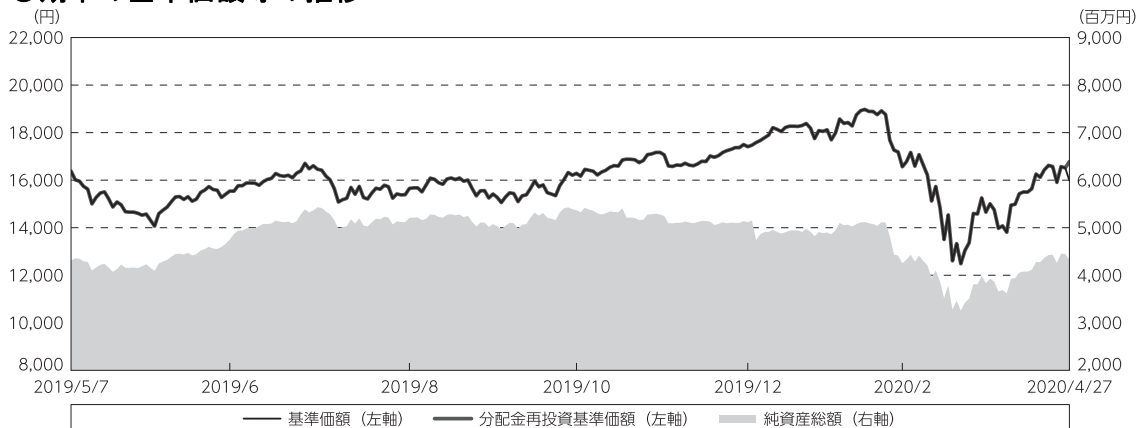
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年5月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首16,382円から期末15,980円になりました。

- ・2019年5月、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長の記者会見を受け米利下げ観測が後退したこと、トランプ政権による対中関税引き上げの表明など米中貿易摩擦の激化が懸念されたこと、中国の対米報復関税や中国の通信機器大手企業に対する米国の輸出規制措置の発表などが警戒されたことなどから、株式市場が下落したこと。
- ・10月、米中貿易協定で部分合意に達したことや、米企業の7-9月期決算が堅調な滑り出しとなったことなどを背景に、株式市場が上昇したこと。
- ・2020年2月、新型肺炎の世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、株式市場が下落したこと。
- ・3月、OPEC(石油輸出国機構)とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型肺炎の感染拡大から米景気の先行き懸念が強まったことなどから、株式市場が下落したこと。

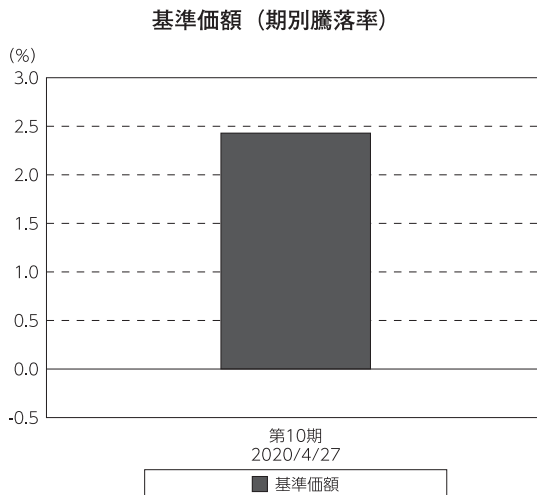
<Aコース>

- ・ 4月、新型コロナウイルスの感染が深刻な一部地域で状況が落ち着きつつある兆候が示されたこと、米トランプ大統領が経済活動再開の指針を公表したことなどから、株式市場が上昇したこと。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり800円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第10期
	2019年5月8日～ 2020年4月27日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	4.768%
当期の収益	200
当期の収益以外	600
翌期繰越分配対象額	5,979

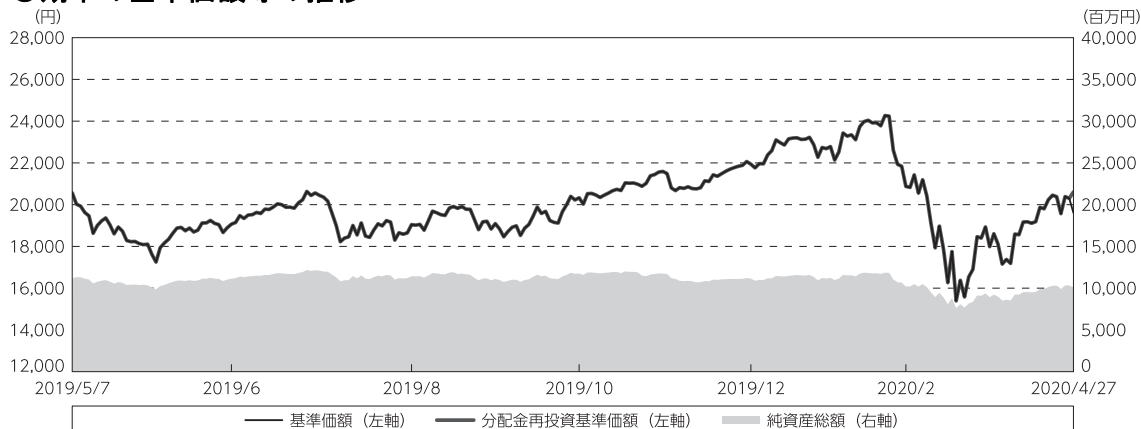
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：20,567円

期末：19,606円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率：0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年5月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首20,567円から期末19,606円になりました。

- ・2019年5月、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長の記者会見を受け米利下げ観測が後退したこと、トランプ政権による対中関税引き上げの表明など米中貿易摩擦の激化が懸念されたこと、中国の対米報復関税や中国の通信機器大手企業に対する米国の輸出規制措置の発表などが警戒されたことなどから、株式市場が下落したこと。
- ・10月、米中貿易協定で部分合意に達したことや、米企業の7-9月期決算が堅調な滑り出しとなったことなどを背景に、株式市場が上昇したこと。また、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、ドル高・円安となったこと。
- ・2020年2月、新型肺炎の世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、株式市場が下落したこと。
- ・3月、OPEC(石油輸出国機構)とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型肺炎の感染拡大から米景気の先行き懸念が強まったことなどから、株式市場が下落したこと。また、投資家のリスク回避姿勢が強まり、ドル安・円高となったこと。

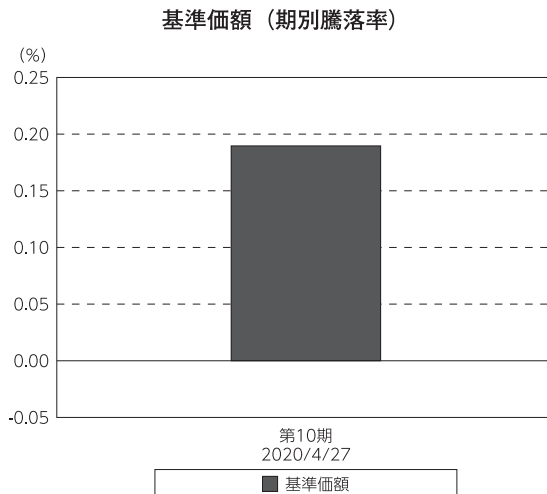
<Bコース>

- ・ 4月、新型コロナウイルスの感染が深刻な一部地域で状況が落ち着きつつある兆候が示されたこと、米トランプ大統領が経済活動再開の指針を公表したことなどから、株式市場が上昇したこと。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第10期
	2019年5月8日～ 2020年4月27日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	4.853%
当期の収益	55
当期の収益以外	945
翌期繰越分配対象額	9,605

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策、米中貿易協議の進展、英国のEU（欧州連合）離脱問題、新型肺炎の感染拡大による懸念、原油安などに左右される展開のなか、期を通じて下落となりました。

為替市場では、円は米ドル、ユーロに対して上昇（円高）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース〕および〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース〕は、主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- ・バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、ウェブベースなどの検索や広告などを提供する米国の持株会社などを買い増しし、米国の半導体素子メーカーなどを一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド]

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月8日～2020年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	306	1.894	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(173)	(1.070)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(121)	(0.749)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.075)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.013	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.013)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.034	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(6)	(0.034)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.023	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	318	1.964	
期中の平均基準価額は、16,181円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

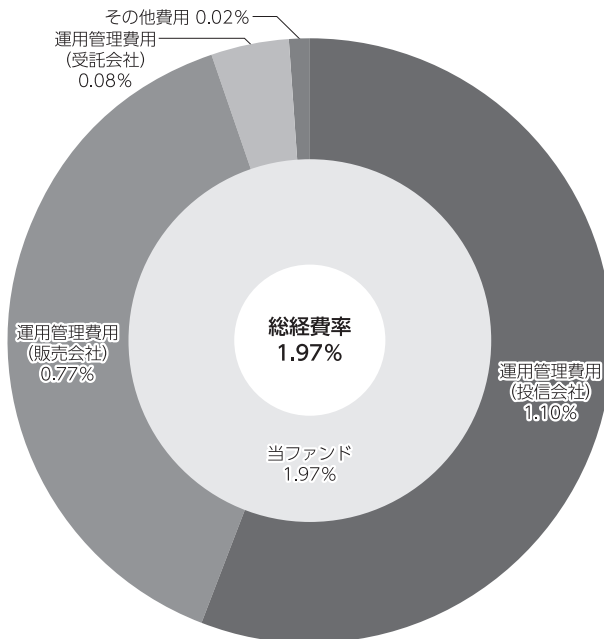
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2019年5月8日～2020年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 805,044	千円 2,595,060	千口 823,713	千円 2,857,215

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年5月8日～2020年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	20,523,195千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,088,855千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.36	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月8日～2020年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 438	% 1.7	百万円 25,508	百万円 852	% 3.3	

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 108	% 3.8	百万円 4,543	百万円 109	% 2.4	

平均保有割合 30.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	1,289,796	1,271,127	4,306,581

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	4,306,581	93.4
コール・ローン等、その他	302,190	6.6
投資信託財産総額	4,608,771	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(14,131,155千円)の投資信託財産総額(14,995,905千円)に対する比率は94.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=107.60円、1香港ドル=13.88円、1ウォン=0.0873円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,678,285,382
コール・ローン等	81,998,258
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(評価額)	4,306,581,186
未収入金	4,289,705,938
(B) 負債	4,355,134,895
未払金	4,091,897,560
未払収益分配金	216,433,182
未払解約金	855,907
未払信託報酬	45,870,464
未払利息	100
その他未払費用	77,682
(C) 純資産総額(A-B)	4,323,150,487
元本	2,705,414,776
次期繰越損益金	1,617,735,711
(D) 受益権総口数	2,705,414,776口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,980円

(注) 期首元本額は2,629,979,513円、期中追加設定元本額は1,548,768,421円、期中一部解約元本額は1,473,333,158円、1口当たり純資産額は1,5980円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額92,058,591円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2019年5月8日～2020年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,762
支払利息	△ 16,762
(B) 有価証券売買損益	193,308,055
売買益	660,445,091
売買損	△ 467,137,036
(C) 信託報酬等	△ 90,741,694
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	102,549,599
(E) 前期繰越損益金	32,061,182
(F) 追加信託差損益金	1,699,558,112
(配当等相当額)	(1,150,541,104)
(売買損益相当額)	(549,017,008)
(G) 計(D+E+F)	1,834,168,893
(H) 収益分配金	△ 216,433,182
次期繰越損益金(G+H)	1,617,735,711
追加信託差損益金	1,537,233,225
(配当等相当額)	(989,898,723)
(売買損益相当額)	(547,334,502)
分配準備積立金	80,502,486

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年5月8日～2020年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年5月8日～ 2020年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	20,426,590円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	82,123,009円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,699,558,112円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	32,061,182円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,834,168,893円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,779円
g. 分配金	216,433,182円
h. 分配金(1万口当たり)	800円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	800円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月8日～2020年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	381	1.894	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(215)	(1.070)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(151)	(0.749)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(15)	(0.075)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.013	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.013)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	7	0.034	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(7)	(0.034)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.023	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	396	1.964	
期中の平均基準価額は、20,139円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

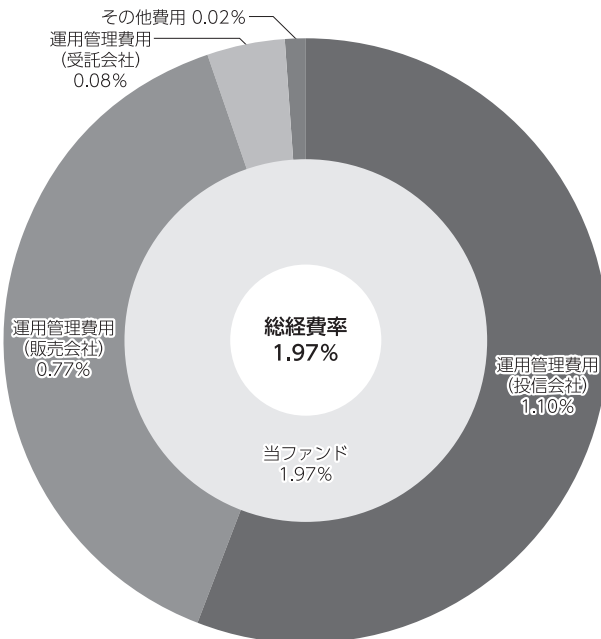
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2019年5月8日～2020年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 1,016,698	千円 3,346,590	千口 1,415,006	千円 4,809,686

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年5月8日～2020年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	20,523,195千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,088,855千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.36	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月8日～2020年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース>
該当事項はございません。

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
為替直物取引	百万円 2,846	百万円 108	% 3.8	百万円 4,543	百万円 109	% 2.4

平均保有割合 69.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	3,346,696	2,948,388	9,989,141

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	9,989,141	93.3
コール・ローン等、その他	716,100	6.7
投資信託財産総額	10,705,241	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(14,131,155千円)の投資信託財産総額(14,995,905千円)に対する比率は94.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=107.60円、1香港ドル=13.88円、1ウォン=0.0873円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,705,241,972
コール・ローン等	216,100,816
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(閉鎖)	9,989,141,156
未収入金	500,000,000
(B) 負債	625,262,420
未払収益分配金	514,128,917
未払解約金	7,115,851
未払信託報酬	103,841,449
未払利息	264
その他未払費用	175,939
(C) 純資産総額(A-B)	10,079,979,552
元本	5,141,289,175
次期繰越損益金	4,938,690,377
(D) 受益権総口数	5,141,289,175口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,606円

(注) 期首元本額は5,435,218,735円、期中追加設定元本額は1,793,826,898円、期中一部解約元本額は2,087,756,458円、1口当たり純資産額は1.9606円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額92,058,591円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2019年5月8日～2020年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 30,913
支払利息	△ 30,913
(B) 有価証券売買損益	234,964,520
売買益	487,416,499
売買損	△ 252,451,979
(C) 信託報酬等	△ 206,656,688
(D) 当期損益金(A+B+C)	28,276,919
(E) 前期繰越損益金	861,065,577
(F) 追加信託差損益金	4,563,476,798
(配当等相当額)	(3,113,961,533)
(売買損益相当額)	(1,449,515,265)
(G) 計(D+E+F)	5,452,819,294
(H) 収益分配金	△ 514,128,917
次期繰越損益金(G+H)	4,938,690,377
追加信託差損益金	4,563,476,798
(配当等相当額)	(3,116,578,993)
(売買損益相当額)	(1,446,897,805)
分配準備積立金	375,213,579

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年5月8日～2020年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年5月8日～ 2020年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	10,940,267円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	17,336,652円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,563,476,798円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	861,065,577円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,452,819,294円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,605円
g. 分配金	514,128,917円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日2020年4月27日）

作成対象期間（2019年5月8日～2020年4月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
主な投資対象	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率			
6期(2016年4月27日)	18,390	△17.0	96.5	—	7,383
7期(2017年4月27日)	23,694	28.8	94.0	—	7,433
8期(2018年4月27日)	29,137	23.0	91.3	—	10,622
9期(2019年5月7日)	33,257	14.1	94.4	—	15,419
10期(2020年4月27日)	33,880	1.9	95.5	—	14,295

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

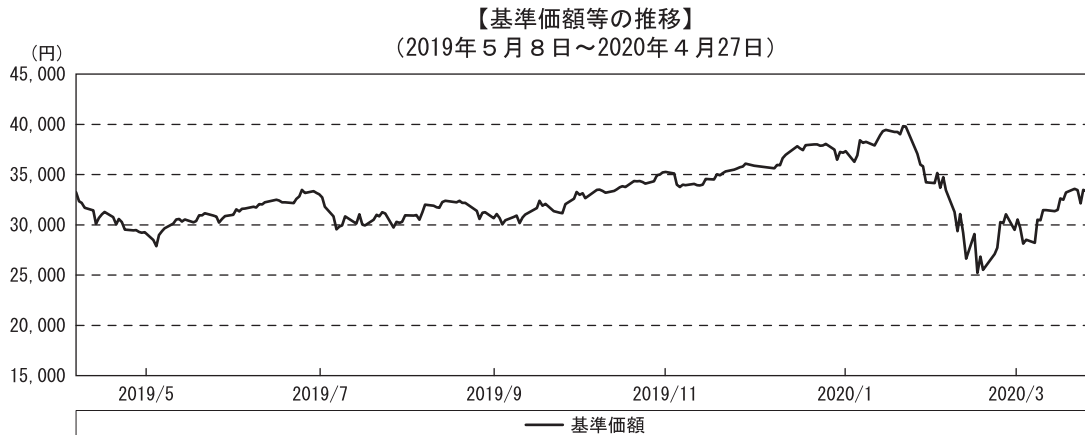
年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2019年5月7日	33,257	—	94.4	—
5月末	29,260	△12.0	92.0	—
6月末	30,875	△7.2	95.1	—
7月末	33,035	△0.7	93.2	—
8月末	30,948	△6.9	95.6	—
9月末	30,653	△7.8	98.9	—
10月末	33,155	△0.3	94.5	—
11月末	35,270	6.1	97.1	—
12月末	35,892	7.9	96.1	—
2020年1月末	37,332	12.3	95.8	—
2月末	34,224	2.9	96.0	—
3月末	30,521	△8.2	95.3	—
(期末) 2020年4月27日	33,880	1.9	95.5	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首33,257円から期末33,880円になりました。

- ・ 2019年5月、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の記者会見を受け米利下げ観測が後退したこと、トランプ政権による対中関税引き上げの表明など米中貿易摩擦の激化が懸念されたこと、中国の対米報復関税や中国の通信機器大手企業に対する米国の輸出規制措置の発表などが警戒されたことなどから、株式市場が下落したこと。
- ・ 10月、米中貿易協議で部分合意に達したことや、米企業の7～9月期決算が堅調な滑り出しとなったことなどを背景に、株式市場が上昇したこと。また、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、ドル高・円安となったこと。
- ・ 2020年2月、新型肺炎の世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、株式市場が下落したこと。
- ・ 3月、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型肺炎の感染拡大から米景気の先行き懸念が強まったことなどから、株式市場が下落したこと。また、投資家のリスク回避姿勢が強まり、ドル安・円高となったこと。
- ・ 4月、新型肺炎の感染が深刻な一部地域で状況が落ち着きつつある兆候が示されたこと、米トランプ大統領が経済活動再開の指針を公表したことなどから、株式市場が上昇したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

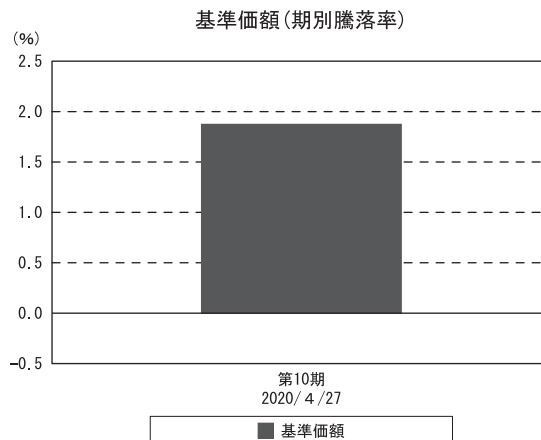
・期中の主な動き

- (1) 世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- (2) バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、ウェブベースなどの検索や広告などを提供する米国の持株会社などを買い増しし、米国の半導体素子メーカーなどを一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○1万口当たりの費用明細

(2019年5月8日～2020年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 4 (4)	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.034 (0.034)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.020 (0.020) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	21	0.067	
期中の平均基準価額は、32,833円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月8日～2020年4月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 12,853	千米ドル 87,878	百株 11,528 (343)	千米ドル 100,368 (547)
	香港	96	千香港ドル 3,430	35	千香港ドル 1,339
	韓国	63	千ウォン 299,012	22	千ウォン 120,869

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年5月8日～2020年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	20,523,195千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,088,855千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.36

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月8日～2020年4月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 108	% 3.8		百万円 109	% 2.4	

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	101	74	2,558	275,282	ソフトウェア
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	259	177	3,622	389,757	インターネット販売・通信販売
ALPHABET INC-CL A	5	31	3,963	426,509	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	18	8	2,096	225,625	インターネット販売・通信販売
ANALOG DEVICES INC	183	134	1,421	153,004	半導体・半導体製造装置
APPLE INC	274	128	3,647	392,469	コンピュータ・周辺機器
APPLIED MATERIALS	336	404	2,091	225,027	半導体・半導体製造装置
BAIDU INC - SPON ADR	131	157	1,594	171,514	インタラクティブ・メディアおよびサービス
BOOKING HOLDINGS INC	5	6	858	92,379	インターネット販売・通信販売
BROADCOM INC	154	117	3,112	334,941	半導体・半導体製造装置
CARE.COM INC	295	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス
CISCO SYSTEMS	467	560	2,383	256,414	通信機器
COHERENT INC	136	111	1,314	141,471	電子装置・機器・部品
CRITEO SA-SPON ADR	742	890	859	92,505	メディア
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	—	821	5,915	636,471	ソフトウェア
FACEBOOK INC-A	313	293	5,573	599,741	インタラクティブ・メディアおよびサービス
FORMFACTOR INC	385	—	—	—	半導体・半導体製造装置
HP INC	660	792	1,188	127,836	コンピュータ・周辺機器
INPHI CORP	—	116	1,154	124,265	半導体・半導体製造装置
INTEL CORP	1,310	398	2,362	254,162	半導体・半導体製造装置
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES	94	112	1,408	151,577	情報技術サービス
LAM RESEARCH	149	62	1,677	180,483	半導体・半導体製造装置
LENDINGTREE INC	—	127	2,755	296,532	消費者金融
MICROSOFT CORP	677	487	8,517	916,447	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	916	356	1,574	169,442	半導体・半導体製造装置
MONGODB INC	—	116	1,856	199,716	情報技術サービス
NETFLIX INC	56	10	444	47,786	娯楽
NVIDIA CORP	230	31	906	97,530	半導体・半導体製造装置
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	1,470	1,764	2,587	278,382	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	236	283	1,505	161,961	ソフトウェア
PAYPAL HOLDINGS INC	448	147	1,769	190,414	情報技術サービス
QUALCOMM INC	165	198	1,512	162,778	半導体・半導体製造装置
ROKU INC	—	678	8,471	911,542	娯楽
SALESFORCE.COM INC	187	162	2,501	269,151	ソフトウェア
SERVICENOW INC	169	64	1,964	211,387	ソフトウェア
SKYWORKS SOLUTIONS INC	211	66	645	69,420	半導体・半導体製造装置
SLACK TECHNOLOGIES INC-CL A	—	1,386	3,613	388,810	ソフトウェア
SNAP INC-A	1,402	2,892	4,627	497,886	インタラクティブ・メディアおよびサービス
SPLUNK INC	144	249	3,204	344,769	ソフトウェア
SQUARE INC - A	718	282	1,752	188,591	情報技術サービス
STMICROELECTRONICS NV-NY SHS	781	937	2,343	252,207	半導体・半導体製造装置
SYMANTEC CORP	1,117	—	—	—	ソフトウェア
TERADYNE INC	338	321	1,995	214,679	半導体・半導体製造装置
TESLA INC	147	43	3,154	339,413	自動車
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	249	62	1,606	172,859	ソフトウェア
TRIPADVISOR INC	—	567	1,046	112,560	インタラクティブ・メディアおよびサービス

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円		
TWILIO INC - A		—	510	5,615	604,248	情報技術サービス	
II-VI INC		249	—	—	—	電子装置・機器・部品	
VMWARE INC - CLASS A		145	104	1,343	144,530	ソフトウェア	
XILINX INC		—	68	612	65,902	半導体・半導体製造装置	
YELP INC		888	427	870	93,621	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD		776	784	2,129	229,083	半導体・半導体製造装置	
SEAGATE TECHNOLOGY		259	181	880	94,788	コンピュータ・周辺機器	
NXP SEMICONDUCTORS NV		—	277	2,621	282,110	半導体・半導体製造装置	
小 計		株 数 ・ 金 額	18,014	18,996	123,234	13,260,000	
		銘柄 数 < 比 率 >	44	50	—	< 92.8% >	
(香港)				千香港ドル			
TENCENT HOLDINGS LTD		398	459	18,653	258,914	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
小 計		株 数 ・ 金 額	398	459	18,653	258,914	
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.8% >	
(韓国)				千ウォン			
SAMSUNG ELECTRONICS		255	296	1,462,487	127,675	コンピュータ・周辺機器	
小 計		株 数 ・ 金 額	255	296	1,462,487	127,675	
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.9% >	
合 計		株 数 ・ 金 額	18,668	19,751	—	13,646,589	
		銘柄 数 < 比 率 >	46	52	—	< 95.5% >	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 13,646,589	% 91.0
コール・ローン等、その他	1,349,316	9.0
投資信託財産総額	14,995,905	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (14,131,155千円) の投資信託財産総額 (14,995,905千円) に対する比率は94.2%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=107.60円、1香港ドル=13.88円、1ウォン=0.0873円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	14,995,905,722
コール・ローン等	1,349,315,828
株式(評価額)	13,646,589,894
(B) 負債	700,001,056
未払解約金	700,000,000
未払利息	1,056
(C) 純資産総額(A-B)	14,295,904,666
元本	4,219,516,630
次期繰越損益金	10,076,388,036
(D) 受益権総口数	4,219,516,630口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,880円

(注) 期首元本額は4,636,493,820円、期中追加設定元本額は1,821,742,859円、期中一部解約元本額は2,238,720,049円、1口当たり純資産額は3,3880円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース 2,948,388,771円
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース 1,271,127,859円

○損益の状況 (2019年5月8日～2020年4月27日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	137,845,340
受取配当金	124,393,467
受取利息	7,981,345
その他収益金	5,569,068
支払利息	△ 98,540
(B) 有価証券売買損益	466,758,392
売買益	2,607,458,084
売買損	△ 2,140,699,692
(C) 保管費用等	△ 3,136,331
(D) 当期損益金(A+B+C)	601,467,401
(E) 前期繰越損益金	10,783,194,445
(F) 追加信託差損益金	4,119,907,141
(G) 解約差損益金	△ 5,428,180,951
(H) 計(D+E+F+G)	10,076,388,036
次期繰越損益金(H)	10,076,388,036

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2020年4月27日現在)

年 月	日
2020年4月	-
5月	1、21、25
6月	1、11
7月	3
8月	-
9月	7
10月	12
11月	11、26
12月	24、25

※ 2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。